



# こころの中を見つめよう

## 週報

### 博愛を広げるために

2011～2012 年度 RI 会長

RI 第 2730 地区ガバナー

長峯 基

カルヤン・バネルジー

鹿児島市内分区ガバナー補佐

梶 茂吉

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 上園 哲生 副会長 上原 勝 幹事 渡海谷 宗宣

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanrc@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanrc@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2051 回

No.2

平成 23 年 7 月 12 日 (火)

本日のプログラム

ガバナー公式訪問



### 第 2050 回例会報告

#### 会長挨拶

上園哲生会長

皆様こんにちは。本日の例会は今期最初の例会で、創立以来 43 年目の通算 2050 回目の例会です。多くの会員の方々に支えられ、協力して頂いてきた長い歴史を新ためて感じます。と同時に唯今も創立 50 周年記念大会に向けての積立てのご協力を頂いておりますが、これからの我がクラブの存続をかけた色々な観点からの問題提起、そして現状を踏まえながらの見直し作業も進めていく大事な年度であると自覚しております。どんなに時代背景、経済状況が変わりましてもロータリアンの奉仕の精神は変わりません。そのことを大切に、鹿児島東南 RC の明るい未来につながる年度にしていかなければとの思いを強くしております。会員皆様の叡智と様々な活動に対するご協力をお願い致します。いよいよ来週の例会は、長峯ガバナー、梶ガバナー補佐をお迎えしての「ガバナー公式訪問」です。年度当初に長峯ガバナーの示唆に富むガバナーアドレスをお聞きできることを、大変楽しみにしております。その後「クラブフォーラム」になっております。会員皆様の「クラブ活性」に向けた広い視野、長い目で見た実現可能なご意見、ご提言を期待致しております。

#### 会務報告

- 東日本大震災義援金 (週報掲載中)

(台北グランドパーク R C 1,193,320 円(手数料差引))

6 月 27 日現在 1,134,000 円

- 次回例会 (週報に掲載) ガバナー公式訪問

・出来るだけ多くの会員のご出席をお願い致します。特に入会 3 年未満の方はご出席お願い致します。

・食事は百万円の食事です

・服装はノーネクタイで結構です。

- 二火会

日時: 7 月 19 日 (火) 18:30~

場所: 焼肉亭 カワサキ

会費: 4,000 円

#### 出席報告

会員数	29 名	前々回出席者	17 名
出席免除会員	2 名	メイクアップ	8 名
出席会員	19 名	出席訂正率	89.2%
出席率	70.3%	-	-

## スマイル報告

○上園哲生君-前途多難を思わせるような、あいにくの天気ですが、今年度1年間渡海谷幹事と力を合わせて頑張ります。ご支援・ご協力宜しくお願い致します。

○渡海谷宗宜君-今年1年間、上園会長の下、幹事としてがんばりますので皆様ご指導の程よろしくお願い致します。

○堀之内弘昭君-上園会長、渡海谷幹事の船出に際し、スマイルします。ロータリー活動に休止はありません。1年間頑張ってください。

○寶來春巳君-上園年度、頑張ってください。

○内政季君-上園新年度、ご発展を祈ります。

○末吉重榮君-上園年度のスタートを祝して！

○川崎芳明君-本日は会長が結婚祝に吹上漁協のおいしいお魚を届けて下さいました。妻も大変感激しておりました。又、誕生祝に井科農園のおいしい品物も頂きました。東南ロータリーで良かったなあ。

本日計 20,000 円 累計 20,000 円

## 東日本大震災 義援金報告

累計 1,134,000 円

## 本日のプログラム 「会長就任挨拶」



上園哲生会長

3月11日に発生しました東日本大震災、それに伴う“津波”災害、そして福島第1原発事故により多くの人命・財産を失い、今日で117日が経過した、今なお避難所生活を強いられている方々、仮設住宅にとりあえずは入居され、これから先の生活を思い悩む方々、原発事故が今だ収束しない中での放射線による計画的避難区域からの避難を余儀なくされた方々、悲しく痛ましい状況が続いている最中に、第43代鹿児島東南RC会長に就任させて頂きました。ロータリークラブとは、真のロータリアンとは何か、何を為すべきかを問われる年度と

なりました。早速に姉妹盟約クラブである台北グランドパークRCより、大変心のこもった熱い友情が示されました。そのことに対ししても、喜んで頂けるきちとした対応のご報告を致さなければなりません。その為にも、もう一度我がクラブの足元を見直し、固め直さなければなりません。会長のカルヤン・パネルジーRI会長は、「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」をテーマに掲げられ、まず自分自身を見つめ直して下さい。自分の心に平和を見出してこそ、家の中に平和をもたらし、家族に平和をもたらし、そして地域社会に平和をもたらすことができるのです。自分が強くなれば共に生きる人々や、家族も強くなります。と強く語られております。厳しい状況であればこそ強い土台を築き前進していかなければなりません。我がクラブも現状、様々な課題を抱えております。その1つが会員の年齢構成のバランスであります。長い間80歳代、70歳代の先輩会員の方々に寄り掛かり、支えて頂いていることを実感致しました。どうしても40歳・50歳・60歳代は働き盛りでロータリー活動にそんなに時間が取れないのですよ、という思いが強かったのでしょうか。しかしながら、どうしても若手会員を増やしていかなければ10年先がありません。先般、若手会員の声を聞く緊急ミーティングを、上田平前幹事を中心に開いて頂きました。そこで、会費負担と使途の関係について意見が出されました。私自身これまでその使途について深く考えたことがありませんでした。確かにロータリアンとしてのRI、地区への負担金・委員会活動費よりも管理運営費が遥かに掛かる現状であります。これから会員皆様との協議を通じて、若手会員が入会し易い、会員として継続して行きやすい会費のあり方、合理性のある使途について検討していきたいと思っております。次に今期の大きな行事は、先般も述べました様に、姉妹クラブ台北グランドパークRCの創立10周年記念大会が、平成24年3月17日に行われることです。できるだけ多くの会員・会員家族の出席が叶いますよう、少し早い時期から、訪台準備に取り掛かりたいと思います。熱い友情に答えるべく、盛り上げて頂きたいと思うのです。各委員会具体的な活動は、アッセンブリーにお示しをしましたことを、委員長を中心に会員全員のご協力で実施して頂きたいと思います。また、さらに例会を魅力ある時にするためにも、山田プログラム委員長の活躍を期待しております。全会員のご協力を頂きまして、渡海谷幹事と二人三脚で1年間頑張ってください。宜しくお願い致します。

「幹事就任挨拶」



渡海谷 宗宜幹事

入会して、今年度で4年度目となりますが、今年は、上園会長の下で、幹事の役を頂きました。最初、上園会長から幹事の声をかけて頂いた時は、ロータリーの入会歴も浅く、先輩方に比べてかなり社会経験も少ない私が、幹事をして大丈夫なのかと、正直不安でしたが、やるからには前向きに頑張ろうと思います。今までは、まだ分からない事も多く、先輩方に助けてもらいながら、どうにか過ごしていましたが、これからは、東南ロータリークラブがより良い方向に進むように、しっかりと知識をつけて、上園会長の下で活動しようと思います。台北グランドパークロータリークラブの記念式典、吹上浜清掃等の対外的な活動も円滑に行われるよう、しっかりとバックアップしたいと思います。クラブの運営等についても、幹事として、会員全員の声に耳を傾け、東南ロータリークラブが効果的に機能し、親睦が更に深まるよう行動を心がけたいと思います。1年間、上園会長の下、微力ではございますが、できる限りの努力をしようと思います。皆様に迷惑をかける事もたくさんあると思いますが、ご指導の程宜しくお願い致します。



7/19(火) 2010-2011 決算報告	7/26(火) 外部卓話 岡野幸司様	7/26(火) 外部卓話 岡野幸司様	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
7/13 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	△第3回クラブ協議会 ガバナー公式訪問
	鹿児島西	山形屋	ガバナー公式訪問
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブ協議会(決算・予算報告)
7/14 (木)	鹿児島東	山形屋	長峯ガバナー公式訪問
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	ガバナー公式訪問前のクラブフォーラム
	サザンアイランド	鹿児島東急イン	クラブ協議会(年間活動計画)
7/15(金)	鹿児島	山形屋	△定例夜間例会 7/15 18:30～ プロバスクラブ・ローターアクトクラブ会長挨拶
7/18(月)	鹿児島中央	山形屋	祝日のため休会
7/19(火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	長峯ガバナー公式訪問

<国際ロータリーHPより 抜粋>

未来のロータリアン育成には新世代プログラムの連携がカギ

国際ロータリー・ニュース：2011年7月1日

米国の第5160地区では、「メンター（個人指導）プログラム」を通じて、多数の大学新生がローターアクト・クラブに入会しています。中でも元インターアクターがローターアクトとなるケースがられます。このように、インターアクター（IA）、ローターアクト（RA）、RYLAロータリー青少年交換参加者とのつながりを保とうとする試みが各地区で見られ、参加者が将来ロータリアンとなる可能性に期待が高まっています。

「IAが高校を卒業後、別の地域の大学に入学した場合、大学の近くでRAC見つけられないケースがあります。そのようにしてロータリーから離れてしまう人たちはもう一度呼び込むことが大切なのです」と話すのは第5160地区のRA代表、ジョアナ・ウォンさんです。「私たちはプログラムを”卒業”した人たちが次のレベルのプログラムに紹介するようにしています。RYLAや青少年交換を経験した人にはIAを勧め、元IAにはRAを勧めるといった具合です」

ダンビル・ロータリー・クラブ（米国）の元会長、ジム・カンピアーさんは、新世代を対象とした各プログラムの中で関係を築くことが成功への第一歩と語ります。「IA、RA、RYLA、青少年交換、そのすべてのプログラムが相互につながっていることを強調すべきです。新世代奉仕の全体像を見て初めて、いかに多角的に実施されているかわかります」 ～（中略）～

新世代プログラムを相互に推進するため、他地区のアイデアを以下にご紹介します。

- 現在はオーストラリアでRAC会長を務め、元青少年交換学生の7ラ・ウィルソンさんは、RA入会後に地区のRYLAに参加しました。元プログラム参加者が別の新世代プログラムに参加すれば、プログラム間の橋渡しができると話します。
- 第5450地区（米国）のRYLA委員長、マット・マトソンさんは、RYLA会議で常にIAの紹介をするようにしていると話します。この結果、地区内に29あるインターアクト・クラブの多くは、元RYLA参加者で始められたそうです。

新世代プログラムの相互推進に関するアイデアは、「新世代奉仕入門」をダウンロードしてご覧ください。また、国際ロータリーの公式ツイッター日本版をフォローし、随時発信される情報もご参照ください。